

支部のトピックス（近畿支部）

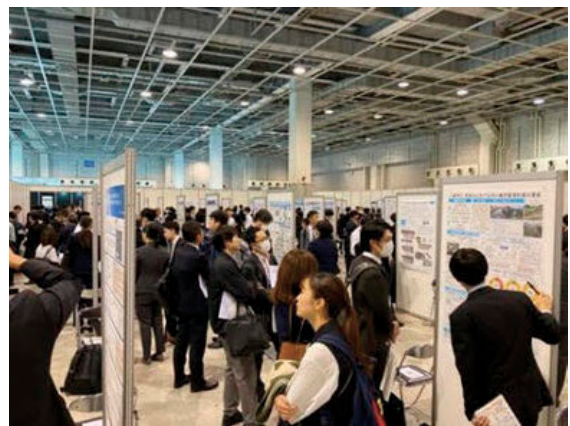
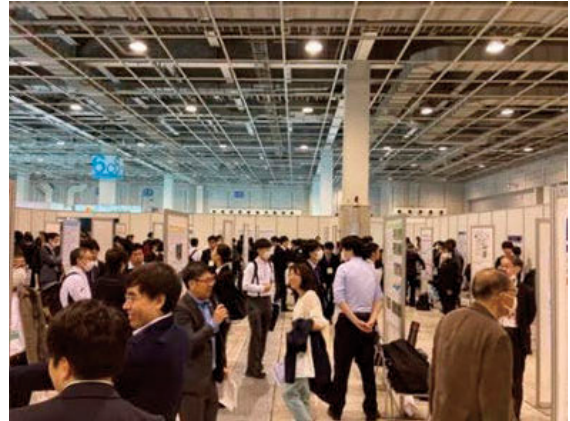
「関西土木工学交流発表会」開催

～ 建設技術展において土木学会関西支部とポスター発表を共同開催 ～

2022（令和4）年度の「建設技術展 2022 近畿」では、土木学会関西支部イベント（土木学会関西支部年次学術講演会）に、建設コンサルタント協会近畿支部の研究発表会ポスター発表の優秀発表者が発表する機会をいただく形でコラボレーションを行いましたが、2023（令和5）年度は、この取組みを一步進め、「関西土木工学交流発表会」と名称も新たに、「建設技術展 2023 近畿」においてポスター発表を共同で開催しました。

建設コンサルタント協会近畿支部は入社4年目までの若手技術者の参加を募り39編を発表、土木学会関西支部からは48編が参加しました。

当日は、インプレッシブポスター賞（来場者投票）を設けるなどの工夫もし、学生、若手技術者、一般来場者が多数来訪し、活発な議論や意見交換が行われている様子で、大盛況のうちに開催することができました。



「第56回 研究発表会」

～ 入場制限を撤廃、4年ぶりに集合型で開催 ～

2022（令和5）年度の研究発表会は、コロナ禍の終息に伴い、4年ぶりに入場制限を解除し、全面集合形式で開催しました。53編の「一般論文発表」の他、「各種委員会の活動報告」「特別講演」などが行われ、多くの聴講者が来場し、熱心に聞き入る姿や活発な意見交換が行われている様子が見受けられました。

特に、3年ぶりに再開した「学生発表」には、当初どのくらいの論文が集まるのか不安もありましたが、ふたを開けてみれば過去最多の14編の応募を頂きました。

当日は発表者以外の多くの学生に来場して頂き、各社の現役技術者との交流を通じて建設コンサルタントへの関心が高まる貴重な機会とできました。

